

自ら学び豊かな心で たくましく生きる生徒



しただの郷学園
下田中学校便り第6号
令和3年9月15日発行



文責 校長 小林貴英

秀嶺体育祭



戦いを終えた
両軍団長

天候のため日曜日に順延した体育祭。前日までの雨で少し柔らかい早朝のグラウンドに、足跡を付けないようにとそっと歩く生徒たちがいます。開会式の隊形に整然と並ぶ全校生徒は、いよいよ始まろうとしている大行事への高揚感と緊張感に満ちた表情です。広いグラウンドに観客はゼロ。静寂の中で始まる体育祭は初めての事です。

開会式。本部役員が式台から呼びかけます。「今日観戦に来ることができない保護者・地域のみなさんへ、日ごろ私たちを応援してくれている感謝の気持ちを込めてエールを送りましょう！」2人の応援団長の声に合わせて、マスクをしているとは思えないほどの大きな声がグラウンドに響き渡りました。(写真右)



リーダーは寄贈された絆纏を着ています。



息づかいとともに動くマスクの様子から分かります。両軍の激しいアトラクションの後には、ビニール紐で作ったポンポンのクズがグラウンドに落ちています。それを拾い集めながら応援席に戻る生徒たち。誰から言われたわけでもありませんがそんな光景がありました。ここには2軍に分かれて戦うという意識はなく、全校が一つになって気持ちのいい体育祭を目指そうとする気持ちが行動に表れたものだと感じました。

各競技での選手たちは、仲間からの声援を受けながら存分に力を発揮し、そして楽しんでいました。真剣な表情と笑顔の両方が溢れました。勝敗がついた後の拍手は自軍にも相手にも送られ、ここに下中生の温かさを実感します。

午後になると青空と太陽が見え、心地良い暑さの中での活動となりました。練習を積んだ各軍が見せるアトラクション。工夫を凝らし、心を合わせる姿。精一杯の声を出していることが、





閉会式。応援団長が言いました。「こんな状況の中、体育祭を開催してくれた先生たちに感謝の気持ちを伝えます。」 団長の合図で全校生徒から「ありがとうございました！」 誰の発案なのでしょう。気の利いた教職員へのサプライズプレゼントです。うれしい瞬間でした。

下中生の良さが盛りだくさんの体育祭でした。私たち教職員からも「ありがとう！」

全校が円陣で向かい合って
体育祭を締めくくりました。



青い炎の熱さと月の下で
秘めた闘志を燃やす狼



華やかな花と
迫力ある昇り鯉



両軍パネル長

応援、パネル、
アトラクション
どれもみな甲乙
つけるのが難し
かったです…



保護者、地域の皆様からは無観客開催にご理解とご協力いただきました。お陰様で教職員の意識はすべて生徒に向けることができ、体育祭の大成功につながりました。ありがとうございました。